

ながいながいペンギンの話

はなし



いぬいとみこ / 作 さく やまだ さぶろう え 山田三郎 / 絵
りろんしゃ 理論社 196p ISBN : 978-4-652-00501-9

なんきよくのしまにペンギンのルルとキキが生まれました。ある夏の夜、こおりごと海へながされてしまった兄弟は、クジラの子どもと友だちになったり、シャチとたたかったりして、大きくなっていきます。

ながくつ下のピッピ



リンダグレーン / 作 さく おおつかゆうぞう やく 大塚勇三 / 訳
いわなみしよてん 岩波書店 262p ISBN : 978-4-00-115061-2

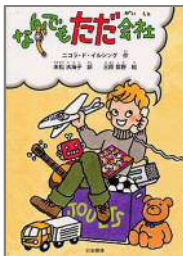
サルしのニルソン氏しとごたごたそう荘しやうに引っこしてきたピッピは、一人自由気ままひとりじゆうな暮らしをしています。だれよりも強くて明るく、ゆかいな女の子ピッピのお話は、ほかに『ピッピ船しまにのる』、『ピッピ南の島へ』があります。

シリーズ
3さつ

なんでもただ会社

がいしや

ニコラ・ド・イルシング / 作



みはらしの え すえまつ ひみこ やく
 三原紫野 / 絵 末松氷海子 / 訳
にっぽんひょうじゆん 日本標準 96p ISBN : 978-4-8208-0318-8

家でるすばんすばんをしていたティエリーは、めちやくちやなばんごうなばんごうに電話をかけました。すると、ほしいものをなんでも、むりようでとどけてくれる会社につながりました。それには、あるおそろしいわながあったのです。